

民報 ゆうばり

…つなごう記憶と記録…

“平和へのメッセージ2020”に150人！

夕高生有志の8名 会場設営に大活躍

今日8日(土)・9日(日)の2日間にわたって、「つなごう記憶と記録」の2日間、会場中央には「平和の木」の切り絵が配置され、入場者は、和への思いを語り継ぐ行事で、8日午前中の準備作業には、高校生8名を含む30名を超える実行委員が集まり、「りすた」多目的ホールで開催されました。

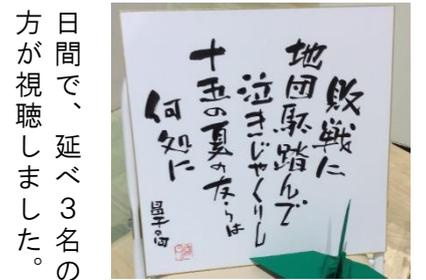
「平和の木」に多くのメッセージ

「つなごう記憶と記録・原爆展」に引き続き平和を考える催し物で、2日間で150名をこえる市民が来場しました。「明日の平和をつ



80点以上のパネル写真が並びました。今回は、コロナウイルス感染防止対策を講じ、窓や入り口の戸を開け放ち、5台の扇風機を回すなどの「3密」をさける対策が取られました。

会場入り口には、実行委員がその場で



日間で、延べ3名の方が視聴しました。

また、「絵本の読み聞かせ」もあり、若い親子数組が、読み聞かせの声に耳を傾け、参加者で、平和とは何かを考えさせる取り組みがありました。

9日の読み聞かせは、長崎に原爆が落とされた日でもあり、市民の平和への関心の深さをうかがわせる内容でした。

組でした。近隣の町からの入場者もあり、中には2日間にわたって会場を訪れた人もいました。

今回も夕張市教育委員会の後援をえて、市内の各所にポスターの掲示をお願いし、約30か所に。

厚谷夕張市長も9日の会場に足を運んでいました。昨年は3日間の開催でしたが、今年は2日間の開催と期間も短く、コロナ感染を配慮し実施された「平和へのメッセージ2020」は、若い親子連れの姿が目立ち、若い世代の人たちへの「平和へのメッセージ」が少しずつ継承されていることを感じました。

会場に設置された「カンパ箱」には2万円弱の寄付があり、2年連続して開催された「平和展」は、コロナ禍の中でしたが、昨年並みの入場者と夕張の新施設「りすた」でも初めての大きな取組でもあり、「りすた」を利用する一般市民の方たちも会場に足を運んでいました。



「新婦人 原爆の日 核兵器の廃絶を」

終戦から75年を
迎える8月6日、国
連NGOの「新日本
婦人の会夕張支部」
では、毎年恒例の「原
爆の日」行動で、清
水沢の農協前で街
頭からの訴えと署名
活動を行いました。

「本日、世界の1
91か国・地域が加
盟する核兵器不拡散
条約（NPT）が、
発効から50
周年という節
目を迎えました
核兵器禁止
条約（NPT）が、
世界にはいまだ1
万4000発の核兵
器と、2000発近
い核ミサイルは直ち
に発射できる状態
で存在して
いて、核
兵器は人
類生存へ
の脅威で
す。



核武装国は病院の代
わりに核爆弾を作り
看護師や医師ではな
く、ミサイルや爆撃
機に巨額なお金を投
資している。軍事で
はなく、人間のニー
ズに税金を使う政府
を作ろう」と訴えて
いました。

最後に
「世界が
コロナ禍
の最中、
核武装国は病院の代
わりに核爆弾を作り
看護師や医師ではな
く、ミサイルや爆撃
機に巨額なお金を投
資している。軍事で
はなく、人間のニー
ズに税金を使う政府
を作ろう」と訴えて
いました。

くずさんの 夕張歴史散歩 (141)

午後2時をすぎました。突如、一人の学生が公園内の舞台「八角亭」に立ちます。取り出した紙を高々と掲げ、意気高く読み上げます。

「われわれは、ここにわが朝鮮国が独立国であること、朝鮮人が自由の民であることを宣言する。これを世界万国に告げて人類平等の大義を明らかにし、子孫万代に告げて民族自存の正当な権利を永久に享有させようと思う。もともと日本と韓国との合併は、民族が望むものとして行われたいわけではない。あ、いま目の前には新たな世界が開かれようとしている。武力をもって人々を抑えつける時代は去り道義の時代が来た。われらはここに奮起した。良心はわれらとともにあり、真理はわれらとともにすすむ。」(中略)

読み終わった学生は、静まりかえった民衆に「独立万歳」を、もろ手を上げて呼びかけます。

このひと声は、独立宣言に感激した民衆の心にこだまし、会場の内外は一斉に「独立万歳」の声に包まれました。「独立万歳」と共にソウル市内に繰り出した民衆の中には、太極旗*がひるがえり、老弱男女を問わず次々と列に加わります。

大韓民国の国旗

明治維新 55 朝鮮植民地支配

民族代表は、国葬に合わせて独立宣言を発表する予定でしたが、民衆の多さに怖れ2日前に繰り上げました。にもかかわらず当日3月1日、会場のソウルのパゴダ公園（現タプル公園）には、朝鮮全国からの民衆がぞくぞくと集まります。



島山 和也「かけある記」
前衆議院議員

これだけ頼れるメンバーで
小選挙区の予定候補(第一次)が発表されました。いっしょに国会で活動したい仲間ばかりです。

二区(札幌東区、北区)は平岡だいすけさん。団地改修や地下鉄駅の段差解消など困っている市民の声を届け、実現してきた市議会議員の経験を、今度は国政で活かします。三十一歳の若い力に期待大です。

五区(札幌厚別区、札幌以外の石狩管内)は橋本みかさん。新幹線トンネル残土問題では該当町内会に飛び込んで、いっしょに「残土置き場にするな」と活動してきました。行動力と正義感はピカイチです。

九区(胆振、日高管内)は松橋ちはるさん。JR日高本線の維持・存続や胆振東部地震の支援にも駆けまわり、苫小牧市でのカジノ誘致反対でも大奮闘。断念に追い込む先頭に立ってきたのが松橋さんでした。

議員バτζがなくても議員並みの活動ができるのは、いつも「国民が主人公」を貫く日本共産党だからです。安倍政権がコロナ対策で迷走するなか、国民の命と健康を守る新しい政治をつくるには日本共産党の議員を増やしてこそです。市民と野党の共闘を、さらに前へ進める力にもなります。

もちろん私も比例の議席奪還へ全力をあげたい。百五十もの団体・個人から、新型コロナウイルスでの切実な声を聞いてきました。「安倍首相はやる気がないなら辞めてほしい」との声を聞くなか、もどかしい思いもしてきました。いつ解散・総選挙となるかはわかりませんが、地に足をつけた活動をしっかり続けます。

夕張市議 くまがい桂子